

# London

## エコシステムの特徴・トレンド

投資を呼び込む大胆な施策、洗練された自由市場、レベルの高い教育機関、英語が公用語である優位性等、複合的な要素により従来から優秀な人材・情報・企業・投資家が集まっていることが強み。イノベーション振興に取り組む公的機関のInnovate UKやテクノロジー業界団体のTech UK、さらに350を超えるアクセラレータ・インキュベータ等起業支援を行うプレーヤーが官民共に豊富。既存産業（金融・医療）と技術を融合したフィンテックやメドテックの他、デジタル技術、医療、輸送システム等重要度の高い分野の研究開発支援に強いことも大きな特徴。また、「サンドボックス（実証実験）」を活用したスマートシティ分野も集積しつつあり、制度面で寛大な点も魅力。

## 提携先アクセラレーター

### Techstars LONDON

- 2006年の創業以来、150超の国・地域で4,000以上のイベントを実施。10,000を超えるメンターや300,000以上のアルムナイなど、豊富なネットワークを誇るメンター主導型グローバル・アクセラレーターのロンドン拠点。
- 毎年、選抜された約300の企業が参加する3ヵ月間のプログラムを通して計約12万ドルの投資やハンズオン支援を提供。
- グローバルに幅広い知見や人脈を有する有力アクセラレーター。各地のインナーサークルに強いパイプを持つManaging Directorを中心として、2018年度以降メンタリングとビジネスマッチングを実施。

## メンター候補

### Eamonn Carey, Managing Director

Techstars Londonのトップ。長年に亘って欧州、中東、アジア、北米でメンター、アドバイザー、エンジェル投資家として活動。過去には、AB InBev社との事業連携の統括経験があり、起業家としての一面も有する。



## 支援メニュー・留意事項

1. 現地ブリーフィング（現地／Web会議）  
ロンドン・エコシステムではジェトロ職員がブリーフィングサービスにて対応します。（1時間程度／回）
2. 事業戦略立案等メンタリング（現地／Web会議）  
英国進出に関する導入、ピッチデックの精査等ご希望やターゲットに合わせてメンタリングを実施します。（1時間まで／回）
3. ビジネスマッチング先の紹介  
メンタリングを実施後、商談準備が整った企業に対してTechstarsのネットワークを活用し、パートナー候補や投資家等を紹介します。

## 色彩豊かな欧州のスタートアップエコシステム

ジェトロ・グローバルアクセラレーションハブ設置都市

**Jetro  
Global  
Acceleration  
Hub**  
In Europe

日系スタートアップの現地事業展開および、日系企業の現地スタートアップとの協業・連携活動を個別にお手伝いします。

[www.jetro.go.jp/services/jhub/](http://www.jetro.go.jp/services/jhub/)

### ロンドン

欧州最大のエコシステム。2020年の投資額は106億ドル（都市別で世界4位）。投資先のTop3はフィンテック、ヘルステック、エンタープライズ向けサービス。

### パリ

スタートアップ支援策フレンチテックと豊富な理系人材を背景にAI/ディープテックに強み。充実した研究開発税制により近年グローバル企業によるR&D投資も盛ん。

### ヘルシンキ

環境問題の解決やQOL向上に対する官民の高い関心と推進力がローカルのみならずグローバルでも競争力を持つスタートアップを創出。SLUSHの開催地。

### ベルリン

ドイツ最大のエコシステム。成長領域はフィンテック、AI・データ、IoT、グリーンテック、ヘルス・バイオテックなど。外国人による起業が7割を占め、英語でビジネスが可能。

### デュッセルドルフ

独最大の経済州の州都。エネルギー、機械・自動車、IT分野の大手・中堅・スタートアップが集積。Fraunhofer IPT、アーヘン工科大学では5G、IoT研究が盛ん。

### ミュンヘン

BtoBのスタートアップが集積。BMW、シーメンスなどの自動車・機械関連分野の協業・潜在顧客が存在。ミュンヘン工科大学等からのスピノフも多い。

## 色彩豊かな欧州のスタートアップエコシステム

その他注目のスタートアップエコシステム

### アムステルダム

欧州各市場へのアクセスが良く、英語話者が多い。Uber、Netflix、Tesla等米企業が、欧州事業拠点として同地を選択。フィンテック、スマートシティに強み。

### ダブリン

英語圏、若い労働力、低廉な法人税を背景に、GAFAも開発拠点を構える。アイルランドの人口一人当たりのスタートアップ投資額は英国をしのぐ。

### バルセロナ

南欧最大、投資件数で欧州5位のエコシステム。スマートシティやバイオ技術に強み。手頃な人件費と質の高い生活環境も魅力。携帯見本市「MWC」の開催地。

### リスボン

ウェブサミット誘致を追い風に近年急速に発展。タイムラー、グーグル、富士通など外資デジタル開発拠点設置も相次ぐ。欧州の中でもコストメリット、人材等に定評。

### チューリッヒ

連邦工科大学（ETH、EPFL）から輩出される人材と技術力が強み。スイス全体では伝統的に強い金融、医薬品産業に加え、近年はICTやフードテックも台頭。

### ストックホルム

北欧トップのVC投資額を誇る。医学分野で著名なカロリンスカ研究所、5Gインフラをリードする通信大手のエリクソン等が立地。都市別ユニコーン数は欧州2位。

### タリン（エストニア）

エストニアのスタートアップ数は人口10万人あたり85社と欧州で最も多い。法人設立から運営まで全てオンラインで可能な上、法人税が配当のみにかかる制度が特徴。

### ビリニウス（リトアニア）

近年海外からの直接投資が増える新興のエコシステム。欧州のフィンテックのハブの座を狙い、中央銀行もフィンテックの成長を後押しする政策をとっている。

### コペンハーゲン

近年、フィンテック、フードテック、デジタルヘルス等でスタートアップが成長。欧州のバイオテッククラスターとして名高いメディコンバレーも広がる。

### ミラノ

ミラノのあるロンバルディア州を中心に、近年企業数・投資額ともに拡大中。企業向けサービス（R&DやITサービスなど）が多い。